【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成29年9月7日(2017.9.7)

【公開番号】特開2015-54251(P2015-54251A)
【公開日】平成27年3月23日(2015.3.23)
【年通号数】公開・登録公報2015-019
【出願番号】特願2014-185253(P2014-185253)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　5/055　(2006.01)
Ｇ０１Ｒ　33/36　(2006.01)
Ｇ０１Ｒ　33/46　(2006.01)
Ｇ０１Ｒ　33/48　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　5/05　３５０
Ｇ０１Ｎ　24/04　５３０Ｚ
Ｇ０１Ｎ　24/08　５２０Ａ
Ｇ０１Ｎ　24/08　５２０Ｙ

【手続補正書】
【提出日】平成29年7月26日(2017.7.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
磁気共鳴装置（９）の高周波システム（１９）により高周波（ＲＦ）励起パルスを送出するステップと、
そのＲＦ励起パルスを高周波システム（１９）により取得するための受信事象を開始するステップと、
送出されたＲＦ励起パルスを高周波システム（１９）により励起データの形式で取得するステップと、
を含む磁気共鳴装置による高周波励起パルスの測定方法。
【請求項２】
励起データが、少なくとも１つの方向性結合器または少なくとも１つのピックアップループにより取得される請求項１記載の方法。
【請求項３】
高周波システム（１９）により付加的に、ＲＦ励起パルスに基づいて生じるエコー信号がエコーデータの形式で取得される請求項１または２記載の方法。
【請求項４】
励起データの取得とエコーデータの取得との間の時間的切替が切替マトリックスによって実現される請求項３記載の方法。
【請求項５】
励起データおよびエコーデータがタイムスタンプを有する請求項３または４記載の方法。
【請求項６】
励起データおよびエコーデータが生データセットの形式で記憶される請求項３乃至５の１つに記載の方法。

【請求項７】
励起データがプロセスの経過をチェックするために使用される請求項１乃至６の１つに記載の方法。
【請求項８】
励起データが磁気共鳴装置（９）の出力ユニット（３１）に励起データの監視のために出力される請求項１乃至７の１つに記載の方法。
【請求項９】
高周波システム（１９）、制御装置（３８）および出力ユニット（３１）を有し、かつ請求項１乃至８の１つに記載の方法を実施するように構成されている、高周波励起パルスを測定するための磁気共鳴装置（９）。
【請求項１０】
磁気共鳴装置（９）の制御装置（３８）において実行される際に請求項１乃至８の１つに記載の方法の全てのステップを実行するためのプログラム手段を備えた磁気共鳴装置（９）のプログラム可能な制御装置（３８）の記憶装置に直接にロード可能であるコンピュータプログラム。
【請求項１１】
磁気共鳴装置（９）の制御装置（３８）において記憶媒体（２７）を使用する際に請求項１乃至８の１つに記載の方法を実施するように構成されている電子的に読取可能な制御情報を有するコンピュータ読取可能な記憶媒体（２７）。